

テナガエビ増殖用リサイクル魚礁設置・開発等事業

1 事業の概要

児島湖の水質は、緩やかに改善してきましたが、近年は横ばい傾向にあり、茶色く濁った「見た目」も悪いことから、実際の水質以上に「汚い」とのイメージが先行しています。このため、平成30年度から「見た目」の改善に繋がる施策に取り組んでおり、その一つとして、湖水の主な着色原因である植物プランクトンやユスリカの幼虫(アカムシ)などを捕食するテナガエビの増殖手法や水質改善効果等について調査研究を実施し、一定の成果を得たところです。

本事業では、これまでの成果を踏まえた上で、新たに資源循環の視点を取り入れ、廃棄物等を活用したリサイクル魚礁を開発し、児島湖内に設置してテナガエビを増殖させることにより、児島湖の「見た目」の改善、水生生物による持続的な水質浄化の仕組みづくりを目指しています。

2 令和4年度実績

(1) リサイクル魚礁の開発・設置

廃棄予定の瓦を活用したリサイクル魚礁を開発、児島湖内に10基を設置してテナガエビの増殖効果を調査しました。

<リサイクル魚礁(廃瓦)>



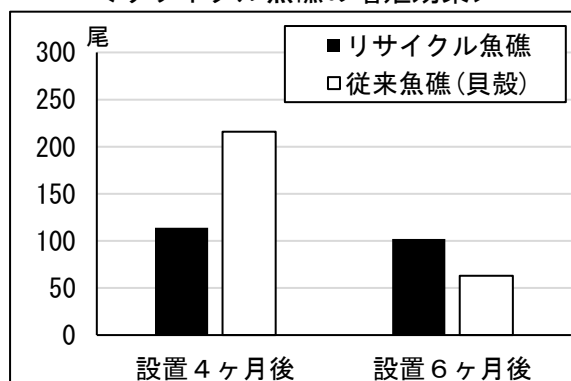
<リサイクル魚礁の設置>



(2) リサイクル魚礁の増殖効果

設置6ヶ月後の調査では、従来魚礁(貝殻)と同程度の増殖効果を確認しました。

<リサイクル魚礁の増殖効果>



<リサイクル魚礁内のテナガエビ>

